

はじめに

三重県立図書館は、平成23年4月、県立図書館としてのあるべき姿や4年間の取組方針をとりまとめた三重県立図書館改革実行計画「明日の県立図書館」を策定し、さまざまな取組を進めてきました。この「明日の県立図書館」では、「全県域・全関心層へのサービス」「先進的なサービス」という県民への「2つの約束」を掲げ、これを実現するために「3つの活動」に最優先で取り組むとともに、図書館経営について「5つの方策」に留意することを基本的な考え方としました。

平成23年度からの4年間においては、県立図書館の役割に留意するとともに、全県域へのサービスを意識し、県内の図書館と積極的に連携を図りました。さらに、課題解決や読書推進に関する実験的な取組として、医療・健康コーナーやティーンズコーナーを開設しました。その一方で、県内の図書館の情報把握や実験的な取組の県内図書館への普及など、依然として残っている課題や新たに見えてきた課題もあります。

また、平成24年秋には、NPO法人知的資源イニシアティブが授与するLibrary of the Year 2012優秀賞を受賞しました。この受賞は、「明日の県立図書館」をオープンな手法で策定し進めていることや、県立図書館が県内の図書館活動を積極的に推進していることが評価されたものです。

「明日の県立図書館」に続く取組方針についても、前回と同様に図書館関係者・有識者等へのヒアリングや館内の職員によるワークショップ等を行いながら検討を進め、このたび、新たな取組方針として「どこにも2つの図書館」をとりまとめました。

「2つの図書館」とは、県民の皆さんにとって身近な市町立図書館や学校・大学などの図書館と、それを後ろで支える県立図書館のことをいいます。県立図書館は、県内の図書館とともに、県民の皆さんに等しく、より良い図書館サービスを提供できるよう努めます。

はじめに	2
図書館をめぐる現状	3
これまでの4年間の成果と課題	4
基本的な考え方	5
2つの約束	6
3つの活動	7
5つの方策	10
協力者等一覧	10
検討の記録	11